

平成8年度 第25回世論調査「行政改革」について

調査の目的

本調査は、「行政改革」について、市民の意識・評価・要望などを把握し、基礎資料とすることを目的とした。

調査の設計

1. 調査地域 富士市全域
2. 調査対象 富士市在住の満20歳以上の男女
3. 標本数 3,000人
4. 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
5. 調査方法 郵送調査
6. 調査期間 平成8年7月5日～7月20日
7. 調査機関 株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所

回収結果

1. 発送数 3,000人(100.0%)
2. 回収数 1,958人(65.3%)
3. 有効回収数 1,948人(64.9%)

集計表

市役所の窓口についてお伺いします。

問15 あなたは、この1年間に富士市役所へ行ったことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	5回以上	16.2
(2)	3回～4回	21.2
(3)	1回～2回	41.9
(4)	行ったことはない	19.1
(5)	無回答	1.6
	計	100

問15-1 問15で(1)又は(2)、(3)と答えた方にお聞きします。市役所へ行った目的は何でしたか。最も多いものを、次の中から1つだけ選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	証明書類の交付、または年金、保険などの各種届出や登録のため	89.8
(2)	各種の相談のため	2.8
(3)	会議へ出席のため	1.9
(4)	情報や資料収集のため	1.3
(5)	その他	2.7

(6)	無回答	1.5
	計	100

問16 あなたが市役所へ出かけたとき、さらに、改善したらよいとお感じになったことは何ですか。あなたのお考えに近いものを2つまで選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	事務処理のスピードを速くする	18.4
(2)	証明書類の交付手続や届出の手続をもっと簡単にする	27.7
(3)	市役所内の案内をわかりやすくする	13.5
(4)	職員の応対などを親しみやすくする	23.6
(5)	密接に関連のある仕事は、なるべく1つの課で事が済むようにする	34.0
(6)	各種の相談が気軽にできるようにする	16.9
(7)	市民の質問に的確に答えられるように職員の資質を高める	14.5
(8)	その他	2.7
(9)	特にない	7.4
(10)	無回答	6.2
	計	164.9

富士市行政改革大綱についてお伺いします。

問17 富士市は、今日の社会経済環境や財政の現状を厳しく認識し、行財政システムのあり方を総合的かつ抜本的に見直し、時代の要請や市民の多様な行政需要にこたえていくため、平成8年2月「富士市行政改革大綱」を策定しました。この内容については、広報ふじ(3月20日号)などで市民の皆様にお知らせしてあるところですが、あなたは、この大綱を知っていますか。

番号	選択肢	パーセント
(1)	知っている	29.9
(2)	知らない	64.5
(3)	無回答	5.6
	計	100

問18 「富士市行政改革大綱」では、主に次の検討項目を設定しましたが、特に、重点的に進めなければならないものは、どれだと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	事務や各市事業の整理合理化	14.6
(2)	組織機構の簡素合理化	14.4
(3)	市職員数の見直し	35.6
(4)	経費の節減と財源の確保	28.8
(5)	行政の情報を的確かつ迅速に提供する地域情報システムの整備	11.9
(6)	公共施設の利用時間の見直しと機能の充実	16.8
(7)	市民課などの窓口利用時間の延長	20.4

(8)	諸証明などの交付手続の迅速化、簡素化	13.1
(9)	まちづくりを進めるために、国や県の権限を市に積極的に移譲	12.8
(10)	その他	0.7
(11)	わからない	5.9
(12)	無回答	4.8
	計	179.8

まちづくりについてお伺いします

富士市は、平成8年度から、ふじ21世紀プラン(富士市第三次総合計画後期基本計画)をスタートさせ、新しいまちづくりを進めてまいります。そこで、これからのまちづくりについてお伺いします。

問19 これからのまちづくりに向けて、限られた財源の中で多くの新たな仕事が想定されます。そこで、その対応について、あなたはどのように考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	必要な仕事を重点的に選択し、効率の低いものは廃止する	55.1
(2)	仕事の質やサービスが向上しなくても、今までの仕事を引き続き実施しながら新たな仕事に対応する	13.2
(3)	その他	2.4
(4)	どちらとも言えない	25.1
(5)	無回答	4.3
	計	100.1

問20 これからのまちづくりは、市民、企業、行政の連携が必要だといわれています。そこで、市民のみなさんのまちづくりのかかわり方について、あなたはどのように考えますか。次の中から1つだけ選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	市民や企業もまちづくりに積極的に参加し、新たな役割を分担すべきである	47.3
(2)	役割分担などは考えず、市役所が中心となり、市民、企業がまちづくりに協力する	36.6
(3)	まちづくりは市役所がやるべきである	3.1
(4)	その他	0.9
(5)	わからない	8.5
(6)	無回答	3.6
	計	100

情報化についてお伺いします

問21 あなたが市役所からして欲しい情報としては、どのようなものが考えられますか。次の中から2つまで選んでください。

--	--	--	--	--

番号	選択肢	パーセント
(1)	市の長期的な計画やまちづくりに対する考え方に関する情報	31.2
(2)	文化施設や福祉施設など公共施設の利用に関する情報	34.5
(3)	税金や公共料金の納付に関する情報	14.8
(4)	市内で行っているイベント、催し物、講座などに関する情報	22.7
(5)	防災に関する情報	16.7
(6)	福祉や保健、医療に関する情報	41.2
(7)	人口、自然、土地利用など市の概要に関する情報	9.0
(8)	その他	0.5
(9)	特にない	6.2
(10)	無回答	2.7
	計	179.5

問22 市が情報化を進める場合、市民が情報を得る手段として、どのようなものがよいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	ファクシミリによる情報提供	17.4
(2)	インターネットなどによる情報提供	14.7
(3)	CATV(ケーブルテレビ)の活用	17.2
(4)	FMコミュニティ放送の活用	16.0
(5)	その他	8.0
(6)	特にない	19.3
(7)	無回答	7.5
	計	100.1

問23 あなたの家庭には、どのような情報通信機器がありますか。次の中からあるものをいくつでも選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	パーソナルコンピュータ	20.0
(2)	ファクシミリ	22.2
(3)	CATV(ケーブルテレビ)	12.2
(4)	その他	1.7
(5)	特にない	52.3
(6)	無回答	4.8
	計	113.2

問24 あなたは、今後1年以内に購入・設置したい情報通信機器がありますか。次の中からいくつでも選んでください。

番号	選択肢	パーセント

(1)	パーソナルコンピュータ	16.5
(2)	ファクシミリ	16.5
(3)	CATV(ケーブルテレビ)	14.4
(4)	その他	0.8
(5)	特になし	53.3
(6)	無回答	8.1
	計	109.6

民間委託についてお伺いします。

問25 限られた財源を有効に使い、新しい行政需要にこたえていくため、市で行っている事務事業を民間に委託する自治体が多くなってきています。このような民間委託をあなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

番号	選択肢	パーセント
(1)	積極的に実施する	22.1
(2)	慎重に実施する	44.5
(3)	民間委託は実施すべきではない	10.9
(4)	その他	1.2
(5)	わからない	17.0
(6)	無回答	4.4
	計	100.1